



販路拡大を目指して開かれた秋田フェア

## 台湾で「白神ねぎ」PR 台湾富裕層に売り込む

県農産物フェア開催



「白神ねぎ」をPRした  
轟ネオファームの高橋さん

県農産物の輸出拡大を図るため、発信力のある高級スーパーや百貨店を対象に「秋田フェア」のイベントが12月上旬、台湾で開催されました。

県の主催で当JAからは「白神ねぎ」PRのため参加。そのほか、県農産物PRとして鹿角市の「りんご」、JA秋田しんせいの「シャインマスカット」を高雄市の漢神百貨店で店頭販売を行いました。

秋田フェアでは「白神ねぎ」をA12束、千三百円で販売。2年前から台湾へ輸出していることもあり、業者から品質が良いと評価が高まっています。また、日本の食品へ関心の高い富裕層を中心に大勢訪れ、店頭では「白神ねぎ」を手に取り買い求め、準備した15kg（5kg）が完売しました。

当JAでは更なる認知度を図る取り組みにより、販路拡大を進めてまいります。

## 農業を盛り上げる力に ～畠山さん主張発表～

県農協青年部協議会は12月5日、農業・JA・青年部・農業経営に関する将来に向けての希望、意見、提言等を発表する「秋田県JA青年の主張発表大会」を開催しました。

大会には当JAから青年部員の畠山仁さんが出場。「逃げ出した先で農業を担う」と題し、自分に合う仕事がなく置かれた環境から逃げ出し、興味の無かった農業に従事。「今は自分に与えられた仕事として一生懸命に農業に力になりたい」と発表し、優秀賞に輝きました。



農業者としての思いを発表する畠山仁さん



本店1階ホールで開催されたコーヒーサロン

## ふれあいの場に ～コーヒーサロン開催～

JA助けあい組織「いきいきき」は12月13日、年金受給日に合わせて、本店でコーヒーサロンを開催しました。

地域の憩いの場をつくろうと初めての開催で、来店した組合員や地域住民にコーヒーやお茶を振る舞いながら、来店者は気軽にくつろぎ、話に花を咲かせておりました。

会場には簡単に作れるスナップ体験コーナーを設けたほか、クラフト同好会の作品展示や女性部員のリース作品の展示コーナーも設置し、来店者の目を惹き寄せました。



女性部が抱えている課題や、JAへの要望が出された意見交換会

## 今後の女性部活動の活性化へ

～女性部と役職員、意見交換～

女性部と役職員との意見交換会が12月9日、開かれました。役員が女性部と直接意見を交換することにより、今後の活動やより良い組織運営につなげる事が目的で、女性部から役員9名、JAからは工藤組合長と工藤専務が出席しました。

佐藤女性部長は「女性部員も年々高齢化し、部員の減少も進んでいる。いろいろな方々のご意見を伺いながら今後の活動につなげていきたい」とあいさつ。工藤組合長は「女性部の皆さんが元気に活動され、地域の活性化につなげていただきたい。更に活動の輪を広げてほしい」と女性部の活動に期待を込めました。

意見交換会では令和6年度の農業情勢とJA広域合併の今後の取り組み方針について工藤専務が説明。その後、女性部が抱えている課題やJAへの意見要望をテーマに話し合いが行われ、意見が交わされました。

JAでは今後の女性部活動活性化のため、意見交換会での意見や要望をしっかりと受け止め、活動に反映させることとしております。

## 美味しい「あきたこまち」コンテスト ～淡路さん優良賞～

秋田米の品質の向上とブランド確立につなげるための秋田米フォーラムが12月6日、秋田市で開かれ、2024年産米の優れたコメを生産したとして当JA推薦の淡路重規さんが優良賞を受賞しました。

フォーラムは2012年から、優れたコメを栽培した生産者を表彰する「美味しいあきたこまち」コンテストを開催しています。今年は県内から71点の応募があり、見た目・香り・味などが総合的に審査され、淡路さんは初受賞となりました。



コンテストで優良賞を受賞した淡路さん

## 防犯へ意識高める ～強盗・詐欺対応訓練～

本店は12月9日、能代警察署の指導で、金融機関を狙う強盗事件と特殊詐欺を想定した防犯訓練を行いました。

訓練は防犯意識の向上により、犯罪の未然防止に努めていくため毎年実施しております。有事の際に役職員が適切な判断ができるよう、能代警察所と協力して訓練を実施しており、職員は犯人への対応、警察官への対応等一連の流れを訓練しました。

強盗模擬訓練終了後は、特殊詐欺被害の対応としての訓練も実施し、防犯意識の向上を図りました。



強盗に対して冷静に対処する職員

